

札幌市内全小学校への 拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取組



背景目的 公共交通を賢く使うことが、札幌の豊かな自然環境の維持に貢献することを学ばせ、未来の利用者へとつなげる

→ 初等教育から効果的に学ばせるために、札幌市内の小学校で公共交通に関する授業が広く実践されることを目指して、教材・授業プログラム等を開発。

Point 01 MM教育を札幌市の小学校全体に拡大するための仕組みづくり

→ 教諭主体の授業実践!

Point 02 単元に沿った学習プログラムにすることで、公共交通との繋がりを意識できる取組

→ 教材の中で容易に実践できる!

実施体制 当初～現在まで (R7年度)



教材作成

- 学習資料と教師向け指導書を作成
- 札幌市教育委員会発行「教育課程編成の手引」(札幌市内教諭のバイブル的資料)への掲載

★3年生 社会科単元「わたしたちのまちと市」、「わたしたちの市の歩み」



市内全小学校へ積極的に配布しています!

★5年生 社会科単元「くらしと産業を変える情報通信技術」



R6年度の取組の主な意見

先生方からの声(要約)

- 公共交通についてまとまっていたても貴重な資料と思う
- シールを貼ることで視覚的に分かりやすく、児童が能動的に取り組んでいた
- バスや路面電車を身近に感じることができていた
- 札幌市の交通の未来を想像し話し合うことができ、児童の財産となった

R6年度の成果

- 昨年度より利用率がUP!
- 本市の喫緊の課題である「路線バスの運転手不足」についても掲載!

3年生学習資料の利用率 (R6年度)



5年生学習資料の利用率 (R6年度)



今後の課題・展望

- 5年生授業における資料の活用方法
- デジタル教材の充実化
- WEB用テストの構築

まとめ

児童への公共交通の利用を促進するため、今後も、学習資料の更なる普及・拡大を目指し、行政と教育現場が連携することで、児童・教諭が使用しやすくなるよう、「内容の修正、研究授業の実施、デジタル化教材の導入」などの取組を継続して行う。